



思想と活動

事象を原理と歴史から読み解く「思想」と、個々人の自立と協同から生み出される「活動」に焦点をあてる。  
考えながら行動し、行動しながら考えるひとのための雑誌。

【主な執筆陣】

柄谷行人、磯崎新、上野千鶴子、中沢新一、水野和夫、大澤真幸、北田暁大、國分功一郎  
岸政彦、岡啓輔、山崎亮、與那覇潤、プレイディみかこ、白井聡、大竹弘二、羽根次郎 ほか

【広告料金表 サイズ改訂版】

掲載面	スペース	料金(円)	原稿サイズ(天地×左右:ミリ)
表4	4C1P	120,000	160 × 132
表2	1C1P	70,000	184 × 120 : (枠つき)
表3	1C1P	55,000	184 × 120 : (枠つき)
中面	1C1P	50,000	184 × 120 : (枠つき)
中面	1Cタテ1/3	28,000	184 × 34 : (枠つき)

- 創刊 2004年5月
- 原稿締切日 発売日の30日前
- 発売 季刊(2、5、8、11月各7日搬入)
- 原稿形態 完全データ

この国のリベラルの思想と運動は何を主張し、どこを目指しているのか。  
それを読み解くための信頼できる座標を与えてくれる雑誌は、今『atプラス』しかない。

私が毎号欠かさず、すみずみまで目を通す数少ない雑誌のひとつだ。

——大澤真幸(社会学者)

人は考えながら行動し、行動しながら考える。

『atプラス』は、考えながら行動し、行動しながら考えた人々の記録であり、また、考えながら行動し、  
行動しながら考える人々のための参考書である。私は本誌を強く推薦する。

——國分功一郎(高崎経済大学経済学部准教授)

『atプラス』は、「思想と活動」を標榜する数少ない媒体だ。

そしていま、日本社会がかつてないほど必要としているものは、まさに「思想と活動」にほかならない。

運動なき思想は無力であり、思想なき運動は盲目である。『atプラス』は現代の最良の道標となる。

——白井聡(京都精華大学専任講師)

## 太田出版